

東京大学21世紀COEプログラム「国家と市場の相互関係におけるソフトロー——ビジネスローの戦略的研究教育拠点形成」の目的とこれまでの歩み

藤田 友敬

1 ソフトロー研究の持つ意味：実定法学へのインパクト

本日のシンポジウムの開始に当たって、21世紀COEプログラム「国家と市場の相互関係におけるソフトロー——ビジネスローの戦略的研究教育拠点形成」に関して、プログラム自体の紹介と今回のシンポジウムの目的・内容について説明することとしたい。昨年のシンポジウムでも似た趣旨の説明を行っているので⁽¹⁾、同じことを繰り返すのをできるだけ避けるため、そもそも21世紀COEプログラムとは何かといったことは、今回は省略し、前回とは別の側面に重点をおくこととする。

当プログラムのキーワードは、「ソフトロー」である。これまで、このプロジェクトでは、「ソフトロー」を、裁判所等の国家機関によるエンフォースが保証されていないにもかかわらず、企業や個人の行動を事実上拘束している規範という意味で用いてきた。「ソフトロー」という言葉は、国際法の分野で、過去に特定の意味合いを持って用いられたものであるが⁽²⁾、このプロジェクトでは、そこで用いられた意味合いとは無関係に使っている。上記の定義は、あまり限定の用をなさないもので、現にときおりそういう批判を受けることもある。ただ注意すべき点は、そもそもこのプログラムでは、「ソフトロー」の概念を厳密に確立して、それによって何かを達成しようとしているわけではないということである。ソフトローに該当するからこうなるとか、該当しないからどうなるとかといった種類の議論をするつもりは最初からなく、「ソフトロー」もそういう目的を持つ道具概念とはとらえていない。そうではなくて、このプログラムの目的は、伝統的な実定法学では視野に入れられてこなかった現象を広く分析の対象にし、法学の考察領域を広げようということなので、差し当たりは、上記の程度の定義でよいのである。ただ、国家によるエンフォースメントという要素だけに依存した定義の仕方では、必要なものを全部うまく拾えているかということは反省の余地はあり、現にそういう角度から、別の指標を取り入れることも示唆されているが⁽³⁾、それは厳密な定義の必要性といったこととは別の話である。

むしろ当プロジェクトの直面した最大の問題は、ソフトローの定義ではなくて、こういうものをどういう方法で研究すればいいかということであった。伝統的な実定法学は、基本的にはハードローの解釈についての技法に関わるものであるが、ひとたび対象が法律そのものではないとなると、その方法論は有効性を失い、どこからどうやって手をつけていいか分からなくなるのである。配付資料に、研究教育活動一覧という冊子があるが⁽⁴⁾、最初期には、「宗教の経済的機能」(18)、『信頼』に関する学際的研究の一動向」(32)といった、方法論をめぐる試行錯誤の跡という他はない研究会の記録が残されており、だいぶ後になっても、「資源配分に関する文化的規範生成について——日米比較実験とコンピュータシミュレーション」(184)等といった形で新しい方法論を導入しよう試みていることがわかる。そして、既存の法律学の道具だけでは無理があるため、必然的に経済学、社会心理学といった隣接諸科学との共同作業のようになるのもこのプロジェクトの特質であった。もちろん方法論ばかり論じているのは健全ではないので、各分野の実務家を交えて、さまざまな具体例の紹介や検討も行ってきたが、先端的な具体例を研究しつつも、結局、常に方法論に立ち戻るというパターンをたどることが多かった。

今から振り返ると、問題の本当の核心は、ソフトローの研究がこれまであまりなかったことにあったのではなくて、実は、わが国の法律学がハードローについて行ってきた研究——実定法学そのものと言ってもよいが——の性格にあったように思われる。つまり実定法学者のほとんどは成文法の条文解釈や判例の研究に主たる関心を持ち、ルール形成のダイナミクスを見る目——たとえば国家法がいかなる政治過程を経て作られ、いかなる集団の利害がいかに反映し、その結果、できたルールはどのような性格を帯びており、現実にいかなるパフォーマンスを果たしているか、負の外部性は発生させていないか、といった政治経済学的あるいは公共選取的な視点——を、しばしば欠いてきたこと、また仮に関心を持つことはあっても、それを研究するための学問的素養やトレーニングを欠いているために、本格的には手出しできなかったという実情である。それにもかかわらず実定法学の「研究」ができてきたのは、民主的な手続を経て作られた法律(ハードロー)の場合、正統性だとか拘束力等とかを一応所与の前提とすることが許される(許されるものとして議論を組み立てることがこの領域の学問の約束事として認められている)と考えられてきたため、

実定法によって採用された一定の規範的な前提を出発点にして、そこから条文操作、論理整合性、場合によってはある種のバランス感覚によってある程度の議論を展開してきたからである。ところがソフトローとなるとその最初の前提が欠ける（ソフトローについては、その正統性は全く保証されないし、それを所与の前提として議論を組み立てることも当然には認められない）ため、とたんに、どこから手をつけてよいか分からなくなるわけである。このようにソフトローの研究が持つ困難さは、逆説的であるが、従来の実定法学（ハードローの研究）の持っていた暗黙の前提と限界を明るみに出すことになったのである。

以上のことから、このプロジェクトの5年間の試みは、伝統的な実定法学の方法論に寄りかかることができる安住の地を捨てて、従来のやり方では何も出来ないような領域にあえて手を出すことで、長期的には、ハードロー研究を含むわが国の法学研究のアジェンダに新たなものを加え、実証に基礎を置く社会科学としての規範研究へと変容させる試みだったと考えている。

2 これまでのシンポジウムとの関係

以上は、現時点で振り返った「そもそも当プログラムは何だったのか」ということである。そこで次に、当プログラムの「これまでの歩み」にかかわる点を説明したい。とてもすべての研究会活動は紹介できないので⁽⁵⁾、当プログラムの内容を外部に公表する機会であるシンポジウムを簡単に振り返り、それとの関係で本シンポジウムの性格を考えたい。

シンポジウムは今回もあわせると全部で10回になるが(表参照)、いくつかの性格の異なるものに分けられる。第1は、毎年年度末にその年度の集大成としての報告を定期的に行うもので、本日のシンポジウムもその一つである(第1回、第4回、第6回、第8回、第10回)。これらと別に特殊なタイプのシンポジウムを行ってきた。ひとつは国際シンポジウムで、3回行っている(第5回、第7回、第9回)。外国の研究者を呼んで行う国際シンポジウムは、わが国の法学界でも別にそう珍しいものではないが、方法論のレベルでの交流を考えたことと、当プロジェクトの側から比較的若手の研究者によって積極的に発表を行ったことに特徴がある。第2に、内容において密接に関連する他のプロジェクトとの共同という形で、生命倫理、法曹倫理といった専門家の倫理にかかわる内容のシンポジウムを2回開催している(第2回、第3回)。

【表：シンポジウム一覧】

第1回 (2004年3月)	現代における倫理・社会規範と法：ソフトロー研究の将来展望
第2回 (2004年7月)	医療倫理規定の現代的意義：医療情報の保護と利用
第3回 (2004年12月)	法曹倫理と生命倫理
第4回 (2005年3月)	ビジネスローのソフト化：ソフトローの先端事例研究
第5回 (2005年7月)	Soft Law and Social Norms: Theory and Practice / ソフトローと国際社会
第6回 (2006年2月)	ソフトロー 対 ハードロー：対立・補完・融合
第7回 (2006年9月)	A Decade After Crisis: The Transformation of Corporate Governance in East Asia
第8回 (2007年3月)	「デファクト・スタンダード」と規範形成
第9回 (2007年7月)	Soft Law in Action: The Role of Private Ordering in Commercial Activities
第10回 (2008年3月)	私的秩序の生成メカニズム：主体・過程・内容

これらの特殊な目的のシンポジウムは、各々個別の意図を持って行われているので、プロジェクトの歩みを語る上では、本日もその一つである、プロジェクトの活動の年度末の定期報告とでもいべき5回のシンポジウムに着目した方が分かりやすい。これまで4回では、たとえば人が国家による強制なしに自発的に規範に従う現象をどういうモデルで分析するかとか、ソフトローとハードローの相互関係をどうとらえるかといったことを主題とする非常に抽象度の高いいわば「理論型」シンポジウム（1回、6回）と、ビジネスローの先端分野において実際にソフトローの生成や発展にかかわっているような立場の人が、具体的な事例を報告し、それに対してコメントがなされるいわば「実例型」のもの（4回、8回）があった。

今回のシンポジウムの題目は「私的秩序の生成メカニズム：主体・過程・内容」であり、ソフトローの形成に関わる主体や形成過程を意識しているのが特徴である。今回のシンポジウムは、上記「理論型」「実例型」の中間的な性格と言ってよい。というのは、具体的なソフトローを取り上げ、その形成に多かれ

少なかれ関与した者がする報告という点で、「実例型」シンポジウムの面がある。他方で、これまでの「理論型」シンポジウムとの連関も強く意識されている。すなわち、これまでの「理論型」シンポジウムでは、なぜ国家のエンフォースメントがない規範に従うのか、そういうソフトローとハードローの関係はいかなるものかといった角度から、つまり規範それ自体の中身の方からモノを見る視点で組み立てられたものが多かったのに対して、今回は、これまでの「理論型」シンポジウムにおいて、直接焦点が当てられてこなかった作成主体や作成プロセスの方に着目しているのが特徴ということになる。

3 最後のシンポジウム？

なお21世紀COEプログラムは2008年3月で終了するので、当プログラムの主催するシンポジウムも、実は今回が最終回である。にもかかわらず、配布物を見ても会場の展示を見ても、どこにも「これが最後」ということを思わせる表示はない。最終回らしくない最終回というのも本日のシンポジウムの特徴なのであるが、そうなったのには、それなりの理由がある。というのも当プログラムの存在意義が、前述したような実定法学のあり方そのものへの異議申し立て（この表現が強すぎるなら、研究対象と方法についての提案と言い換えてもよい）にあるとすれば、「5年間ソフトローの勉強をしました、その成果がこれです」と言って終わるというものではないはずだからである。もとより、5年間の成果をまとめるという作業は必要であるから、それはそれで行う予定で、「ソフトロー研究叢書」という5巻のシリーズが企画されている。他方、5年間の研究成果それ自体は刊行物という形で世に問うとすれば、プロジェクト終了のセレモニーのような企画を行うより、むしろ従来通り、特定のテーマを設定し、それに関した報告を行うというスタイルで行う方が知的に誠実なやり方ではないかと考えた。今回のシンポジウムが、プロジェクトの最終回というよりは単なる5回目の年度末シンポジウム（そして21世紀COEプログラム終了後にも、何らかの形で実質的に6回目、7回目と続いてもおかしくないようなスタイル）となったのはそういう理由からである。

- (1) 藤田友敬「東京大学21世紀COEプログラム『国家と市場の相互作用におけるソフトロー——ビジネスローの戦略的研究教育拠点形成』の目的とこれまでの歩み」ソフトロー研究9

6 ソフトロー研究第 12 号 (2008)

号 1 頁 (2007 年) 参照。

- (2) 齋藤民徒「ソフトロー論の系譜——国際法学の立場から」ソフトロー研究 4 号 3 頁 (2005 年)
- (3) 藤田友敬「規範の私的形成と国家によるエンフォースメント：商慣習法を素材として」ソフトロー研究第 6 号 1 頁 (2006 年)
- (4) 本書**頁以下参照。
- (5) 当プログラムの主催の研究会は、本誌 7 頁以下を参照。

【資料】**研究教育活動一覧**

以下は「国家と市場の相互関係におけるソフトロー」が21世紀COEプログラムに採択された平成15年9月1日からプログラムが終了した平成20年3月31日までの活動をまとめたものである。

研究教育活動内訳（平成15年9月1日から平成20年3月3日まで）

【シンポジウム・公開講座・公開セミナー】

「国家と市場の相互関係におけるソフトロー」シンポジウム 10回
（通し番号23, 45, 74, 104, 120, 155, 188, 218, 239, 263）

COE公開講座（BLC公開講座と共催） 35回
（通し番号2, 4, 10, 13, 19, 27, 33, 38, 60, 68, 75, 105, 113, 119, 123, 133, 135, 139, 142, 145, 147, 171, 178, 185, 191, 197, 217, 219, 241, 249, 252, 255, 261, 262, 266）

COEソフトローセミナー 22回
（通し番号29, 30, 36, 37, 50, 76, 77, 78, 80, 99, 137, 141, 156, 172, 189, 190, 195, 209, 225, 227, 230, 240）

【各部門における研究会】

<政府規制部門>

経済法研究会 31回
（通し番号5, 6, 9, 65, 69, 95, 107, 114, 121, 140, 152, 160, 166, 170, 179, 186, 187, 203, 205, 208, 210, 224, 226, 233, 235, 247, 251, 256, 258, 264, 265）

租税法ソフトロー研究会 25回
（通し番号34, 46, 47, 59, 67, 96, 109, 111, 115, 122, 134, 180, 194, 199, 200, 211, 231, 232, 238, 244, 245, 246, 254, 259, 260）

国際関係とソフトロー研究会 8回
（通し番号165, 183, 193, 206, 207, 223, 228, 248）

<市場取引部門>

市場取引ソフトウェア研究会 20回

(通し番号14, 20, 42, 44, 63, 66, 70, 97, 125, 128, 130, 153, 157, 167, 169, 174, 212, 213, 237, 253)

<情報材(知的財産)部門>

権利ビジネス研究会 14回

(通し番号7, 17, 31, 61, 79, 112, 126, 136, 144, 150, 161, 175, 198, 216)

知的財産法研究会 16回

(通し番号21, 26, 43, 52, 73, 90, 108, 118, 129, 138, 154, 164, 177, 202, 214, 229)

生命工学と法政策研究会(学術創成研究プロジェクトと共催) 16回

(通し番号11, 16, 28, 49, 64, 100, 110, 117, 132, 146, 148, 151, 164, 173, 201, 215)

知的財産ソフトウェア収集作業班報告会 7回

(通し番号48, 103, 159, 192, 221, 234, 242)

<全分野横断的研究会>

ソフトウェア理論研究会 18回

(通し番号12, 18, 22, 24, 32, 39, 54, 72, 85, 92, 116, 127, 149, 162, 176, 184, 220, 250)

文化と法研究会 9回

(通し番号1, 3, 8, 15, 25, 33, 35, 40, 84)

ポストン文化と法研究会 18回

(通し番号51, 53, 55, 56, 57, 58, 71, 81, 82, 83, 87, 88, 91, 93, 94, 98, 101, 102)

ソフトウェアデータベース収集・構築作業班集合 9回

(通し番号41, 62, 86, 131, 163, 168, 182, 196, 236)

【刊行物】

ソフトウェア研究 第11号まで刊行

(通し番号89, 106, 124, 143, 158, 181, 204, 222, 243, 257, 267)

平成 15 年度

9. 9 1 **第 1 回文化と法研究会**
各自の興味関心のもちより
9. 25 2 **第 1 回 C O E 公開講座**
日本のメインバンク制度の実態
報告者：Mark Ramseyer（ハーバード・ロー・スクール教授）
10. 20 3 **第 2 回文化と法研究会**
芸術の定義
10. 30 4 **第 2 回 C O E 公開講座**
コーポレート・ガバナンス再考——商法改正のゆくえ
報告者：神田秀樹（東京大学教授）
11. 5 5 **第 1 回経済法研究会**
航空会社の対抗運賃に関する公取委の対応
報告者：白石忠志（東京大学教授）他
11. 6 6 **第 2 回経済法研究会**
独占・寡占規制の見直しに関する公取委報告書
報告者：白石忠志（東京大学教授）他
11. 12 7 **第 1 回権利ビジネス研究会**
法に基づく差止請求権と契約に基づく不作為請求権—権利ビジネス研究に対する一視点—
報告者：城山康文（アンダーソン・毛利法律事務所弁護士）
11. 20 8 **第 3 回文化と法研究会**
国家と芸術
11. 26 9 **第 3 回経済法研究会**
化粧品流通における再販売価格拘束の認定方法
報告者：白石忠志（東京大学教授）他
11. 27 10 **第 3 回 C O E 公開講座**
独占禁止法における独占・寡占規制
報告者：白石忠志（東京大学教授）
12. 1 11 **第 1 回生命工学と法政策研究会**
先端の生命工学と発明概念／情報コンテンツの保護の限界と特許権
報告者：平井昭光（レックスウェル法律特許事務所弁護士・弁理士）

12. 10 12 第1回ソフトロー理論研究会
議論の前提のすり合わせ
報告者：加賀見一彰(明海大学専任講師・COE特任研究員)
他
12. 11 13 第4回COE公開講座
コーポレート・ガバナンスと雇用・労働関係
報告者：荒木尚志(東京大学教授)
12. 25 14 第1回市場取引ソフトロー研究会
市場取引におけるソフトロー：総論的なディスカッション
報告者：矢野睦(東京証券取引所・COE特任研究員)他
12. 26 15 第4回文化と法研究会
続・国家と芸術
1. 10 16 第2回生命工学と法政策研究会
バイオ特許の考え方
報告者：引地進(特許庁特許審査第一部調整課審査基準室室長補佐)
1. 16 17 第2回権利ビジネス研究会
ライセンス契約について
報告者：前田哲男(染井・前田法律事務所弁護士)
1. 21 18 第2回ソフトロー理論研究会
宗教の経済的機能
報告者：瀬下博之(専修大学助教授・COE特任研究員)
1. 22 19 第5回COE公開講座
企業と文化
報告者：福原義春(資生堂名誉会長)
2. 5 20 第2回市場取引ソフトロー研究会
ソフトローのケーススタディによる研究方法の考察
報告者：宮廻美明(東京大学教授)他
2. 27 21 第1回知的財産法研究会
キルビー判決その後
報告者：牧野利秋(弁護士・元東京高裁部総括判事)
3. 5 22 第3回ソフトロー理論研究会
社会規範の法と経済—その理論的展望
報告者：松村敏弘(東京大学助教授)・藤田友敬(東京大学助教)

- 授)
3. 12 23 **第1回「国家と市場の相互関係におけるソフトロー」シンポジウム**
 「現代における倫理・社会規範と法：ソフトロー研究の将来展望」
 企業の社会的責任：経団連企業行動憲章やOECD多国籍企業行動指針を例として
 報告者：神田秀樹（東京大学教授）
 コメンテーター：宮廻美明（東京大学教授）・加藤元彦（外務省経済局国際機関第二課長）
 医療における規範とソフトロー
 報告者：樋口範雄（東京大学教授）
 コメンテーター：畔柳達雄（弁護士）
 社会規範の法と経済—その理論的展望
 報告者：松村敏弘（東京大学助教授）・藤田友敬（東京大学助教授）
 コメンテーター：柳川範之（東京大学助教授）
3. 15 24 **第4回ソフトロー理論研究会**
 信頼と法
 報告者：森田果（東北大学助教授）
3. 30 25 **第5回文化と法研究会**
 芸術への国家介入

平成16年度

4. 20 26 **第2回知的財産法研究会**
 クレーム解釈と特許無効に関する若干の問題点
 報告者：大淵哲也（東京大学教授）
5. 6 27 **第6回COE公開講座**
 Collective Labor Relations in American Law: A Japanese Perspective
 報告者：David Westfall（ハーバード・ロー・スクール教授）
5. 6 28 **第3回生命工学と法政策研究会**
 バイオ特許の現状（タンパク質の三次元構造解析の問題を中心として）

- 報告者：清水初志・橋本一憲（清水・橋本国際特許事務所弁理士）
5. 11 29 第1回COEソフトローセミナー
Global Law Reform: Institutions and Procedures
報告者：Lance Liebman（コロンビア・ロー・スクール教授）
5. 12 30 第2回COEソフトローセミナー
A Hard Look At Soft Law From An American Perspective
報告者：David Westfall（ハーバード・ロー・スクール教授）
5. 19 31 第3回権利ビジネス研究会
コンテンツビジネスの現状と課題
報告者：広実郁郎（経済産業省メディアコンテンツ課課長）
5. 28 32 第5回ソフトロー理論研究会
「信頼」に関する学際的研究の一動向ーハーディンの信頼理論を中心にー
報告者：石川博康（学習院大学助教授・COE特任助教授）
6. 3 33 第7回COE公開講座
文化と法（第6回文化と法研究会と共催）
報告者：中里実（東京大学教授）
6. 8 34 第1回租税法ソフトロー研究会
租税とWTO補助金協定
報告者：張勝和（ソウル国立大学教授）
6. 12 35 第7回文化と法研究会
政策の手法としての課税
6. 15 36 第3回COEソフトローセミナー
The Timing, Intensity, and Composition of Interest Group Lobbying: An Analysis of Structural Policy Windows in the States
報告者：John M. de Figueiredo（MIT ビジネススクール）
6. 23 37 第4回COEソフトローセミナー
Innovation in Bond Contracts
報告者：Gaurang Mitu Gulati（ジョージタウン大学ロースクール）
7. 1 38 第8回COE公開講座
個人情報保護に関する法律

- 報告者：宇賀克也（東京大学教授）
7. 7 39 第6回ソフトウェア理論研究会
経営理念の経済効果
報告者：広田真一（早稲田大学助教授）
7. 7 40 第8回文化と法研究会
文化の保存
7. 8 41 第1回ソフトウェアデータベース収集・構築作業班会合
これまでのデータ収集作業の状況報告と今後の基本方針の決定等
7. 8 42 第3回市場取引ソフトウェア研究会
引け値保証取引に関するケーススタディ
報告者：矢野睦（東京証券取引所・COE特任研究員）
7. 9 43 第3回知的財産法研究会
知的財産権侵害による損害額の算定について
報告者：飯村敏明（東京地裁判事）
7. 15 44 第4回市場取引ソフトウェア研究会
宮城県における日本酒をめぐる取引の実態調査
報告者：森田果（東北大学助教授）
7. 17 45 第2回「国家と市場の相互関係におけるソフトウェア」シンポジウム
「医療倫理規定の現代的意義：日米の比較を軸として」（学術創成研究プロジェクトと共催）
医療倫理の規律における専門家団体の役割：医の倫理綱領改訂の背景と経緯
報告者：森岡恭彦（日本医師会参与）
医療を規律するソフト・ローの意義
報告者：位田隆一（京都大学教授）
アメリカの医療と法：ソフト・ローの機能と日本への示唆
報告者：ロバート・レフラー（アーカンソー大学教授）
アメリカ医師会倫理規定の特徴：日本人研究者の視点から
報告者：土屋裕子（東京大学研究補助員）・三瀬朋子（東京大学大学院博士課程）
7. 18 「医療情報の保護と利用：運用面での問題点に焦点をあてて」（学術創成研究プロジェクトと共催）

合衆国における医療情報の保護と利用：臨床場面での問題点と
対策のあり方

報告者：ベット・ジェーン・クリガー (National Center for
Ethics in Health Care)

医療情報学の観点から：臨床場面における情報保護と利用の問
題点

報告者：開原成允 (東京大学名誉教授)

医療における情報保護に対する行政の取り組みと課題

報告者：土生栄二 (厚生労働省医政局総務課)

法律家から見た医療情報の保護と利用

報告者：畔柳達雄 (弁護士)

7. 20 46 第2回租税法ソフトロー研究会

ベンチャー・ファンドの理論と実践

報告者：郷治友孝 (東京大学エッジキャピタルパートナー)

7. 22 47 第3回租税法ソフトロー研究会

OECDモデル租税条約コメンタリーの影響力について

報告者：増井良啓 (東京大学教授)

7. 28 48 第1回知的財産ソフトロー収集作業班報告会

特許等ライセンス契約におけるソフトロー実態調査報告

報告者：知的財産ソフトロー収集作業班メンバー (藤野忠・山
中藍子各氏)

及び指導弁護士 (城山・井口・浅井・関山弁護士等)

7. 29 49 第4回生命工学と法政策研究会

特許権のバランスのとり方

報告者：室伏良信 (ファイザー株式会社知的財産部長)

8. 12 50 第5回COEソフトローセミナー

Choice as Regulatory Reform: The Case of Japanese Corpo-
rate Governance

報告者：Curtis Milhaupt (コロンビア・ロー・スクール教授)

9. 4 51 第1回ポストン文化と法研究会

国家と知的財産権

報告者：中里実 (東京大学教授) 他

9. 17 52 第4回知的財産法研究会

Xによる米国内における製品の販売につきYが米国特許権に基

- づく差止請求権を有しないことの確認を求める訴訟を我が国の裁判所に提起することの許否—東京地判平成15・10・16判タ1151号109頁を題材として—
報告者：三村量一（東京地裁判事）
9. 21 53 **第2回ポストン文化と法研究会**
アメリカにおける法学，社会学等への，経済学の影響
報告者：中里実（東京大学教授）他
9. 24 54 **第7回ソフトウェア理論研究会**
法規範と社会規範の相互作用についての一考察—取締役の信認義務との関係を中心として—
報告者：野田博（一橋大学大学院教授）
10. 1 55 **第3回ポストン文化と法研究会**
自生的集団と国家
報告者：中里実（東京大学教授）他
10. 6 56 **第4回ポストン文化と法研究会**
法と芸術
報告者：中里実（東京大学教授）他
10. 10 57 **第5回ポストン文化と法研究会**
国家，宗教，文化
報告者：中里実（東京大学教授）他
10. 13 58 **第6回ポストン文化と法研究会**
ロースクールにおける文化と法
報告者：中里実（東京大学教授）他
10. 13 59 **第4回租税法ソフトウェア研究会**
Characterising and correctly taxing financial assets and liabilities
報告者：Rick Krever（ディーキン大学教授）
10. 14 60 **第9回COE公開講座**
近年の会社法改正についての所感
報告者：前田庸（学習院大学名誉教授）
10. 15 61 **第4回権利ビジネス研究会**
著作権法と業界慣行～いくつかの裁判例を題材として～
報告者：浅井孝夫（アンダーソン・毛利法律事務所弁護士）
10. 21 62 **第2回ソフトウェアデータベース収集・構築作業班会合**

- 活動報告会
10. 26 63 第5回市場取引ソフトロー研究会
情報通信分野とソフトロー
報告者：藤田潔（東京大学客員教授）他
10. 27 64 第5回生命工学と法政策研究会
バイオテクノロジー関連発明における実現形態の変化と特許法の課題
報告者：平嶋竜太（筑波大学大学院助教授）
10. 28 65 第4回経済法研究会
（1）権利取引と競争政策，（2）レコード輸入権制度の立法過程，（3）課徴金減免制度の運用上の諸問題
11. 4 66 第6回市場取引ソフトロー研究会
韓国における企業倫理
報告者：権鐘浩（東京大学客員研究員，韓国建国大学校法科大学助教授）
11. 10 67 第5回租税法ソフトロー研究会
Advance rulings and administrative guidelines: soft law creation of tax norms in Sweden
報告者：Peter Meltz（ストックホルム大学教授）
11. 11 68 第10回COE公開講座
ビジネス交渉の論理と倫理——ナッシュ交渉解の実践的意義の分析を中心として
報告者：草野耕一（東京大学客員教授）
11. 18 69 第5回経済法研究会
Empagran 判決と日本独禁法
報告者：白石忠志（東京大学教授）他
11. 22 70 第7回市場取引ソフトロー研究会
企業の社会的責任—そのソフトロー化？ EUの現状
報告者：神作裕之（東京大学教授）
11. 24 71 第7回ボストン文化と法研究会
続・ロースクールにおける文化と法
11. 30 72 第8回ソフトロー理論研究会
国際法学におけるソフトロー研究の学説史的整理—ソフトロー・データベース作成の前提として—

- 報告者：川副令（COE特任研究員）
12. 3 73 第5回知的財産法研究会
知的財産権を侵害する旨の告知と営業誹謗行為
報告者：高部真規子（東京地裁判事）
12. 4 74 第3回「国家と市場の相互関係におけるソフトロー」シンポジウム
「法曹倫理と生命倫理」（学術創成研究プロジェクトと共催）
生命倫理と法曹倫理－医療と法における利益相反－
報告者：レベッカ・ドレッサー（ワシントン大学ロースクール教授）
法曹と医療専門家における利益相反
報告者：ピーター・ジョイ（ワシントン大学ロースクール教授）
課題としての法曹倫理
報告者：加藤新太郎（司法研修所教官・判事）
医療倫理と医学研究倫理
報告者：大内尉義（東京大学医学部教授）
医療倫理と法曹倫理 ～新たな「公共性」の地平をめざして～
報告者：児玉安司（弁護士・医師）
法曹倫理と生命倫理についての一管見－自立と強制，倫理と法
の関係を中心に－
報告者：田中成明（京都大学教授）
特別発言：畔柳達雄（弁護士）
12. 9 75 第11回COE公開講座
基本に戻る
報告者：根本二郎（日本郵船名誉会長・東京大学法科大学院運営諮問会議議長）
12. 13 76 第6回COEソフトローセミナー
生命医学に関する法と倫理
報告者：Muriel Fabre-Magnan（パリ第1大学教授）
12. 14 77 第7回COEソフトローセミナー
規範の自主選択への新しい動き－企業の社会的責任
報告者：Alain Supiot（ナント大学教授）
12. 15 78 第8回COEソフトローセミナー
2004年のフランス医療保険改革

- 報告者：Jean-Pierre Chauchard (ナント大学教授)
12. 17 79 第 5 回権利ビジネス研究会
タイプフェイス・フォントの権利について (業界慣行と判例)
報告者：布施茂 (NPO 法人日本タイポグラフィ協会事務局長)
12. 22 80 第 9 回 COE ソフトローセミナー
Incoherent Empire: A Critique of the American Empire in
terms of The Sources of Social Power
報告者：Michael Mann (カリフォルニア大学ロサンゼルス校
教授)・川副令 (COE 特任研究員)
1. 3 81 第 8 回ボストン文化と法研究会
ロースクールにおけるヨーロッパ的観念の位置付け
1. 9 82 第 9 回ボストン文化と法研究会
「文化と法」の経済分析
1. 11 83 第 10 回ボストン文化と法研究会
文化とファイナンス
1. 13 84 第 9 回文化と法研究会
映画の法社会学的考察
報告者：内藤篤 (弁護士)
1. 13 85 第 9 回ソフトロー理論研究会
The Limit of Soft Law Harmonization:
Australia, Japan, and Others' Experience with the UN-
CITRAL Model Law on Cross-Border Insolvency
報告者：Kent Anderson (早稲田大学大学院客員助教授)
1. 17 86 第 3 回ソフトローデータベース収集・構築作業班会合
データ収集作業の進捗状況報告と今後の方針の決定等
1. 23 87 第 11 回ボストン文化と法研究会
私企業と国家
1. 28 88 第 12 回ボストン文化と法研究会
続・私企業と国家
1. 31 89 ソフトロー研究創刊
2. 1 90 第 6 回知的財産法研究会
商標権の濫用について—東京高判平成 16 年 12 月 21 日 (平成
16 年(ネ)768 号) を素材として—
報告者：茶園成樹 (大阪大学大学院高等司法研究科教授)

2. 6 91 第13回ボストン文化と法研究会
音楽と法
2. 8 92 第10回ソフトロー理論研究会
企業への法的制裁と社会的制裁—その関係と問題点
報告者：村松幹二（法務省法務総合研究所）
2. 10 93 第14回ボストン文化と法研究会
続・音楽と法
2. 11 94 第15回ボストン文化と法研究会
文化とコミュニティ
2. 15 95 第6回経済法研究会
LePage's 対3M事件
報告者：宇都宮秀樹（森・濱田松本法律事務所弁護士）他
2. 15 96 第6回租税法ソフトロー研究会
租税制度と会計制度の統合アプローチ—90年代アメリカ法人税制を素材として
報告者：関口智（新日本監査法人 公認会計士）
2. 17 97 第8回市場取引ソフトロー研究会
証券市場におけるソフトロー：市場における自己株式取得を例として
報告者：矢野睦（東京証券取引所・COE特任研究員）
2. 27 98 第16回ボストン文化と法研究会
文化と科学技術
3. 1 99 第10回COEソフトローセミナー
投資証券に関する法制—UNIDROITの作業と関連するヨーロッパの立法—(法科大学院支援プログラムと共催)
報告者：Philipp Paech（UNIDROIT 企画官）
3. 3 100 第6回生命工学と法政策研究会
バイオ関連発明の特許保護について—国際調和の観点から—
報告者：田村明照（特許庁特許審査第三部生命工学食品・微生物技術担当室長）
3. 4 101 第17回ボストン文化と法研究会
文化と課税
3. 5 102 第18回ボストン文化と法研究会
文化と法学教育

3. 9 103 **第2回知的財産ソフトロー収集作業班報告会**
プロ野球・サッカー業界における放送許可権・商品化権等のライ
センス実態調査
報告者：COEソフトロー収集作業班メンバー及び指導弁護士
(城山康文弁護士等)
3. 14 104 **第4回「国家と市場の相互関係におけるソフトロー」シンポジ
ウム**
「ビジネスローのソフト化：ソフトローの先端事例研究」
知的財産におけるソフトロー：物の画像・名称の利用について
報告者：城山康文(東京大学客員助教授)
コメンテーター：大淵哲也(東京大学教授)
証券市場におけるソフトロー：市場における自己株式取得を例
として
報告者：矢野睦(東京証券取引所・COE特任研究員)
コメンテーター：藤田友敬(東京大学教授)
独占禁止法上のソフトロー：コナミのサブライセンス拒絶等
報告者：大久保直樹(学習院大学助教授・COE特任助教授)
コメンテーター：白石忠志(東京大学教授)
3. 17 105 **第12回COE公開講座**
倒産法の全面改正の意義
報告者：松下淳一(東京大学教授)
3. 31 106 **ソフトロー研究第2号刊行**

平成17年度

4. 11 107 **第7回経済法研究会**
FTC v. Heinz (DC Circuit 2001)
報告者：増島雅和(森・濱田松本法律事務所弁護士)他
4. 26 108 **第7回知的財産法研究会**
米国・ドイツ・日本法における特許発明の技術的範囲
報告者：竹中俊子(ワシントン大学教授・CASRIP所長)
4. 28 109 **第7回租税法ソフトロー研究会**
事前照会に対する文書回答事例の研究(1)
5. 9 110 **第7回生命工学と法政策研究会**
医療関連行為と特許による保護について

- 報告者：上條肇（特許庁特許審査第三部生命工学審査官）
5. 19 111 **第 8 回租税法ソフトロー研究会**
事前照会に対する文書回答事例の研究（2）
5. 31 112 **第 6 回権利ビジネス研究会**
特許・ノウハウガイドラインが知的財産権行使に与える実務上の問題点
報告者：高橋讓二（弁護士・愛知大学法科大学院教授）
6. 2 113 **第 13 回COE公開講座**
新会社法（案）について
報告者：江頭憲治郎（東京大学教授）
6. 2 114 **第 8 回経済法研究会**
US v. Visa (2 d Cir. 2003)
報告者：平山賢太郎（アンダーソン・毛利・友常法律事務所弁護士）他
6. 16 115 **第 9 回租税法ソフトロー研究会**
事前照会に対する文書回答事例の研究（3）
6. 21 116 **第 11 回ソフトロー理論研究会**
国際法学におけるソフトロー論の系譜
報告者：齋藤民徒（COE特任研究員）
6. 28 117 **第 8 回生命工学と法政策研究会**
創薬の流れと特許及び再生医療と生命倫理
報告者：泉川達也（田辺製薬株式会社研究本部知的財産部）
6. 30 118 **第 8 回知的財産法研究会**
特許法 167 条—機能と限界—
報告者：塩月秀平（知財高裁第 4 部判事）
6. 30 119 **第 14 回COE公開講座**
労働契約法制定の課題——厚労省研究会の問題提起
報告者：菅野和夫（明治大学法科大学院教授・東京大学名誉教授）
7. 1 120 **第 5 回「国家と市場の相互関係におけるソフトロー」シンポジウム**
“Soft Law and Social Norms: Theory and Practice”
Soft Law in Domestic and International Settings
報告者：Eric A. Posner (Professor, University of Chicago)

The Development of Trade Customs in International Sales
報告者：Clayton P. Gillette (Professor, New York University)

The State of Debate over the Incorporation Strategy in Commercial Law

報告者：Steven D. Walt (Professor, University of Virginia)

The Evolution of Social Norm: Economic Modeling

報告者：藤田友敬 (東京大学教授)・松村敏弘 (東京大学助教授)

コメンテーター：Robert C. Ellickson (Professor, Yale University)

7. 2 「ソフトローと国際社会」

ソフトロー論の系譜：国際法学の立場から

報告者：齋藤民徒 (COE特任研究員)

コメンテーター：岩月直樹 (立教大学助教授)

「企業の社会的責任」へのソフトローの拡張？：EUにおける近時の動向

報告者：神作裕之 (東京大学教授)

コメンテーター：野田博 (一橋大学教授)

国際商取引におけるソフトロー：国際慣習・レックスメルカトリーア・私的団体による規則その他

報告者：柏木昇 (中央大学教授・COE特任教授)

コメンテーター：小塚荘一郎 (上智大学教授)

7. 7 121 第 9 回経済法研究会

Verizon v. Trinko (2004)

報告者：中野雄介 (アンダーソン・毛利・友常法律事務所弁護士) 他

7. 7 122 第 10 回租税法ソフトロー研究会

事前照会に対する文書回答事例の研究 (4)

7. 21 123 第 15 回COE公開講座

日本におけるコーポレート・ファイナンスとソフトロー
Corporate Finance and Soft Law in Japan

報告者：Mark Ramseyer (ハーバード・ロー・スクール教授)

7. 31 124 ソフトロー研究第 3 号刊行

8. 8 125 第 9 回市場取引ソフトロー研究会

- M&Aをめぐるソフトロー的規制：買収防衛指針をめぐる
報告者：神田秀樹（東京大学教授）
8. 29 126 **第7回権利ビジネス研究会**
エンタテインメント業界における典型契約
報告者：内藤篤（弁護士）
8. 29 127 **第12回ソフトロー理論研究会**
ソフトローの Secondary Rule 問題
報告者：加賀見一彰（明海大学助教授・COE特任助教授）
9. 1 128 **第10回市場取引ソフトロー研究会**
取締役会・監査役会併設会社のガバナンス・ベストプラクティス・コードの制定
報告者：小塚莊一郎（上智大学法科大学院教授）
9. 1 129 **第9回知的財産法研究会**
特許権侵害行為の捉え方一発明方法の一部の第三者による実施等
報告者：富岡英次（弁護士）
9. 5 130 **第11回市場取引ソフトロー研究会**
証券会社をめぐるソフトロー
報告者：岩倉友明（東京証券取引所・COE特任研究員）
9. 5 131 **第4回ソフトローデータベース収集・構築作業班会合**
データ収集作業の進捗状況報告と今後の方針の決定等
9. 28 132 **第9回生命工学と法政策研究会**
国家プロジェクトの展開と法的課題（タンパク質研究を例にして）
報告者：田仲昭子（独立行政法人理化学研究所ゲノム科学総合研究センターチームリーダー）
9. 29 133 **第16回COE公開講座**
営業秘密の刑事罰による保護
報告者：山口厚（東京大学教授）
10. 26 134 **第11回租税法ソフトロー研究会**
Tax policy and distributive justice in Sweden
報告者：Bertil Wiman（Stockholm School of Economics 教授）
10. 27 135 **第17回COE公開講座**

- 財産開示手続の創設と間接強制の拡大—最近の民事執行法の改正から—
報告者：青山善充（明治大学法科大学院教授・東京大学名誉教授）
10. 28 136 **第 8 回権利ビジネス研究会**
ライセンス契約の機能と保護—ライセンサー倒産時の問題を題材に—
報告者：松田俊治（弁護士）
10. 31 137 **第 11 回 C O E ソフトローセミナー**
ドイツの取締役の報酬の開示に関するソフトローによる規律の統合について
報告者：Christian Foerster（Tuebingen University・C O E 特任研究員）
11. 10 138 **第 10 回知的財産法研究会**
フィリップス事件大法廷判決—日本との違いおよび被告日本企業の敗訴例との関係を考察する—
報告者：松本直樹（弁護士）
11. 14 139 **第 18 回 C O E 公開講座**
Implementing Japan's New Antitakeover Defense Guidelines: Some Lessons From Delaware's Experience in Deciding What Defenses Are "Fair"
（平成 17 年度松本丞治博士記念講義と共催）
報告者：Jack Jacobs（デラウェア最高裁判所裁判官）
11. 17 140 **第 10 回経済法研究会**
IMS Health 判決
報告者：青柳良則（アンダーソン・毛利・友常法律事務所弁護士）他
11. 21 141 **第 12 回 C O E ソフトローセミナー**
国際取引におけるソフトロー；銀行の独立保証について
報告者：Christian Foerster（Tuebingen University・C O E 特任研究員）
11. 24 142 **第 19 回 C O E 公開講座**
改正独禁法の論点から
報告者：白石忠志（東京大学教授）

11. 30 143 ソフトロー研究第4号刊行
12. 6 144 第9回権利ビジネス研究会
共同開発・企業再編における営業秘密の取扱い—契約（合意）による紛争予防の観点から—
報告者：三好豊（弁護士）
12. 15 145 第20回COE公開講座
知的財産保護規範作りの国際潮流
報告者：植村昭三（WIPO事務局長特別顧問）
12. 19 146 第10回生命工学と法政策研究会
リサーチツールの特許保護を巡る諸問題
報告者：鈴木将文（名古屋大学大学院教授）・大町真義（一橋大学大学院助教）
1. 19 147 第21回COE公開講座
投資協定の現代的意味—投資協定仲裁と投資保護—
報告者：小寺彰（東京大学教授）
1. 30 148 第11回生命工学と法政策研究会
BVが運営する「羊膜細胞バンク」とその反響
報告者：坂上正行（株式会社バイオ・リジェネレーションズ代表取締役社長）
1. 31 149 第13回ソフトウェア理論研究会
動機付けの仕組としての企業とソフト・ロー
報告者：宍戸善一（成蹊大学教授）
2. 6 150 第10回権利ビジネス研究会
商号に関する商法改正と標識法の体系
報告者：小塚莊一郎（上智大学法科大学院教授）
2. 10 151 第12回生命工学と法政策研究会
ライフサイエンス産業における知的財産戦略
報告者：秋元浩（株式会社武田薬品工業常務取締役）
2. 16 152 第11回経済法研究会
Stolt-Nielsen 判決
報告者：雨宮慶（伊藤見富法律事務所）他
2. 21 153 第12回市場取引ソフトウェア研究会
規範の私的形成と国家によるエンフォースメント：商慣習法を素材として

- 報告者：藤田友敬（東京大学教授）
2. 24 154 **第11回知的財産法研究会**
特許無効審判の審決取消訴訟と訂正をめぐる諸問題—平成15年改正特許法181条2項の適用前と適用後—
報告者：田中昌利（知的財産高等裁判所判事）
2. 27 155 **第6回「国家と市場の相互関係におけるソフトロー」シンポジウム**
「ソフトロー 対 ハードロー：対立・補完・融合」
規範の私的形成と国家によるエンフォースメント：商慣習法を素材として
報告者：藤田友敬（東京大学教授）
コメンテーター：曾野裕夫（北海道大学教授）
労働法におけるハードローとソフトロー：努力義務規定を中心に
報告者：荒木尚志（東京大学教授）
コメンテーター：両角道代（明治学院大学助教授）
租税法の形成における実験
報告者：増井良啓（東京大学教授）
コメンテーター：渡辺智之（一橋大学教授）
3. 2 156 **第13回COEソフトローセミナー**
Transformation of Corporate Governance: The Korean Experience
報告者：Kon Sik Kim（ソウル大学教授）
3. 27 157 **第13回市場取引ソフトロー研究会**
フランチャイズ関係に関するソフトローの比較法的調査—フランチャイズ協会の役割と倫理綱領
報告者：小塚莊一郎（上智大学法科大学院教授）
3. 31 158 **ソフトロー研究第5号刊行**

平成18年度

4. 12 159 **第3回知的財産ソフトロー収集作業班報告会**
舞台演劇製作過程における契約の実態調査 中間報告
報告者：COEソフトロー収集作業班メンバー及び指導弁護士（城山康文弁護士等）

4. 20 160 第 12 回経済法研究会
Republic Tobacco 高裁判決
報告者：宇野伸太郎（西村ときわ法律事務所）他
4. 24 161 第 11 回権利ビジネス研究会
信託を活用した特許ビジネス
報告者：武智克典（弁護士）
4. 24 162 第 14 回ソフトロー理論研究会
ソフトローとハードロー—何がソフトローをエンフォースする
のか—
報告者：瀬下博之（専修大学教授・COE 特任教授）
4. 28 163 第 5 回ソフトローデータベース収集・構築作業班会合
データ収集作業の進捗状況報告と今後の方針の決定等
5. 8 164 第 12 回知的財産法研究会
バイオ特許の抽象化とその限界（第 13 回生命工学と法政策研究
会と共催）
報告者：田村善之（北海道大学大学院教授）
5. 28 165 第 1 回国際関係とソフトロー研究会
研究会の進め方，問題意識等についての討議
報告者：小寺彰（東京大学教授）他
6. 1 166 第 13 回経済法研究会
Airtours v. Commission
報告者：茂木龍平（大江橋法律事務所）他
6. 9 167 第 14 回市場取引ソフトロー研究会
我が国における敵対的買収の理念と実状
報告者：草野耕一（西村ときわ法律事務所弁護士）
6. 12 168 第 6 回ソフトローデータベース収集・構築作業班会合
データ収集作業の進捗状況報告と今後の方針の決定等
6. 15 169 第 15 回市場取引ソフトロー研究会
業界団体による紛争の予防と解決——各国のフランチャイズ協
会による取り組みを素材として
報告者：小塚莊一郎（上智大学法科大学院教授）
6. 16 170 第 14 回経済法研究会
豊北町福祉バス事件
6. 22 171 第 22 回 COE 公開講座

- 最高裁判事時代の思い出
報告者：福田博（元最高裁判所判事・西村ときわ法律事務所顧問）
6. 23 172 **第14回COEソフトローセミナー**
エンロン事件と倒産法の役割
報告者：Douglas G. Baird（シカゴ大学ロースクール教授）
7. 6 173 **第14回生命工学と法政策研究会**
裁定実施権制度の活用可能性—医薬品アクセス問題, リサーチツールについて—
報告者：江幡奈歩（弁護士）
7. 7 174 **第16回市場取引ソフトロー研究会**
会社の組織・行動をめぐる規範の私的形成とそれに着眼する研究の意義・課題：コーポレート・ガバナンスにおけるソフトローを対象として
報告者：野田博（一橋大学大学院教授）
7. 10 175 **第12回権利ビジネス研究会**
通信を介した著作権ビジネスの展開と問題点
報告者：金井重彦（弁護士）
7. 10 176 **第15回ソフトロー理論研究会**
ソフトロー概念の整理：国際法と国内法における使用法の違いについて
報告者：藤田友敬（東京大学教授）
7. 18 177 **第13回知的財産法研究会**
権利侵害と差止命令との関係
報告者：城山康文（アンダーソン・毛利・友常法律事務所弁護士）
7. 20 178 **第23回COE公開講座**
役員報酬（executive compensation）
報告者：Mark Ramseyer（ハーバード・ロー・スクール教授）
7. 21 179 **第15回経済法研究会**
American Airline (Dist. Kansas)
報告者：多田敏明（日比谷総合法律事務所）他
7. 27 180 **第12回租税法ソフトロー研究会**
事前照会に対する文書回答事例の研究（5）

7. 31 181 ソフトロー研究第6号刊行
8. 11 182 第7回ソフトローデータベース収集・構築作業班会合
データ収集作業の進捗状況報告と今後の方針の決定等
9. 8 183 第2回国際関係とソフトロー研究会
ソフトローの観点からみた国際商事仲裁
報告者：早川吉尚（立教大学教授）
国際契約に関するソフトロー
報告者：森下哲朗（上智大学法科大学院助教授）
9. 15 184 第16回ソフトロー理論研究会
資源配分に関する文化的規範生成について ——日米比較実験
とコンピュータ シミュレーション——
報告者：渡部幹（京都大学助手）
9. 21 185 第24回COE公開講座
関税法入門—租税法等とWTO法の交錯
報告者：青山幸恭（東京大学客員教授，財務省関税局長）
9. 21 186 第16回経済法研究会
Weyerhaeuser 事件
報告者：大久保直樹（学習院大学助教授・COE特任助教授）
他
9. 27 187 第17回経済法研究会
函館新聞事件記録閲覧謄写東京地裁判決
9. 30 188 第7回「国家と市場の相互関係におけるソフトロー」シンポジウム
“A Decade After Crisis: The Transformation of Corporate Governance in East Asia”
Regulatory Rulemaking: A Comparative Perspective
報告者：神田秀樹（東京大学教授）
Transformation of the Management Liability Regime in Japan: In the wake of the 1993 Revision
報告者：藤田友敬（東京大学教授）
Games under Uncertainties: Transformation of M&A Rules in Japan
報告者：大杉謙一（中央大学教授）
コメンテーター：Curtis Milhaupt（Professor, Columbia Law

School)

The Role of Judges in Corporate Governance: Korean Experience

報告者：Kon-Sik Kim (Professor, Seoul National University)

A Tale of Two Companies: The Emerging Market for Corporate Control in Korea

報告者：Hwa-Jin Kim (Associate Professor, Seoul National University)

Improving Corporate Governance through Litigations: Derivative Suits and Class Actions in Korea

報告者：Ok-Rial Song (Associate Professor, Seoul National University)

コメンテーター：神田秀樹

Corporate Regulation in Taiwan: A Political Economy Perspective

報告者：Lawrence Liu (Professor, National Taiwan University)

An Analytical Framework for Controlling Minority Structures and Its Application to Taiwan

報告者：Wen-Yeu Wang (Professor, National Taiwan University)

Controlling Family Shareholders in Asia: Anchoring Relational Exchange

報告者：Ronald Gilson (Professor, Stanford Law School)

コメンテーター：Kon-Sik Kim

10. 1 The Role of Non-Leagal Institutions in Chinese Corporate Governance

報告者：Donald Clarke (Professor, George Washington University)

The Doctrine That Dared Not Speak Its Name

– Anglo-American Fiduciary Duties in China's Company Law and Case Law Intimations of Convergence

報告者：Nicholas Howson (Associate Professor, University

- of Michigan)
 Protection of Minority Shareholders in China: A Task for Both Legislation and Enforcement
 報告者：Xin Tang (Associate Professor, Tsinghua University)
 コメンテーター：Michael Klausner (Professor, Stanford Law School)
10. 2 189 **第15回COEソフトローセミナー**
 The Role of State and Non-State Parties in the Creation and Enforcement of Norms
 報告者：藤田友敬 (東京大学教授)
10. 2 190 **第16回COEソフトローセミナー**
 Rulemaking in International Finance: Basel II
 報告者：神田秀樹 (東京大学教授)
10. 5 191 **第25回COE公開講座**
 最近の著作権制度上の諸課題について
 報告者：甲野正道 (文化庁長官官房著作権課長)
10. 12 192 **第4回知的財産ソフトロー収集作業班報告会**
 ジェネリック医薬品について：今後の調査活動方針決定等
 報告者：COEソフトロー収集作業班メンバー及び指導弁護士 (城山康文弁護士等)
10. 14 193 **第3回国際関係とソフトロー研究会**
 ソフトロー概念の整理——国際法はいかにソフトでありうるか——
 報告者：齋藤民徒 (高知短期大学専任講師)
 宇宙法にみるソフトローの役割
 報告者：青木節子 (慶応大学教授)
10. 16 194 **第13回租税法ソフトロー研究会**
 国際課税ルールの形成における近時の動向について
 報告者：Rick Krever (Monash University 教授)
10. 23 195 **第17回COEソフトローセミナー**
 EUの会社形態の競争におけるドイツ有限会社：ドイツ有限会社法改正法案を中心として (比較法政セミナーと共催)
 報告者：Moritz Bälz (Associate Lawyer, Freshfields Bruck-

- haus Deringer, Frankfurt)
11. 1 196 第 8 回ソフトローデータベース収集・構築作業班会合
データ収集作業の進捗状況報告と今後の方針の決定等
11. 9 197 第 26 回 C O E 公開講座
いま, 「投資事業組合」を考える。
報告者: 寺本振透 (西村ときわ法律事務所弁護士・C O E 特任教授)
11. 13 198 第 13 回権利ビジネス研究会
著作物の引用・利用とその周辺
報告者: 美勢克彦 (弁護士)
11. 15 199 第 14 回租税法ソフトロー研究会
O E C D モデル租税条約コメントリーの役割について
報告者: Michael Lang (Wirtschaftsuniversitaet Wien 教授)
11. 20 200 第 15 回租税法ソフトロー研究会
国際的租税回避に対する国際機関の対応について
報告者: 中山清 (筑波大学教授)
11. 22 201 第 15 回生命工学と法政策研究会
生命倫理を巡るヒト E S 細胞関連技術の特許的確性
報告者: 南条雅裕 (ファイザー株式会社知的財産部特許室長・弁理士)
11. 24 202 第 14 回知的財産法研究会
米国特許法上の諸問題 (差止請求・クレーム解釈等)
報告者: Randall R. Rader (米国連邦巡回区上訴裁判所判事)
11. 29 203 第 18 回経済法研究会
日産化学工業事件
報告者: 白石忠志 (東京大学教授) 他
11. 30 204 ソフトロー研究第 7 号刊行
12. 1 205 第 19 回経済法研究会
Texaco Inc. v Dagher 事件
報告者: 伊藤憲二 (森・濱田松本法律事務所) 他
1. 13 206 第 4 回国際関係とソフトロー研究会
紛争ダイヤモンド取引規制レジームの形成と展開
報告者: 西元宏治 (専修大学専任講師)
海洋法におけるソフトロー: 海運・漁業の規制を中心として

- 報告者：西本健太郎（東京大学博士課程）
1. 14 207 **第5回国際関係とソフトロー研究会**
ソフトローの観点からみた国際航空法——国際標準と勧告方式の遵守を中心として——
報告者：横溝大（北海道大学大学院助教授）
国際海商法の統一性と「ソフトロー」
報告者：竹下啓介（首都大学東京准教授）
2. 1 208 **第20回経済法研究会**
ニプロ株式会社に対する件
報告者：白石忠志（東京大学教授）他
2. 2 209 **第18回COEソフトローセミナー**
韓国における「団結の自由」と「組合自主性」の実効性問題——労組法上「企業内複数組合」及び「組合専従者賃金支給禁止」施行延期を中心に（労働判例研究会と共催）
報告者：李興在（ソウル大学校法科大学教授・COE特任教授）
2. 6 210 **第21回経済法研究会**
Volvo Trucks 判決
報告者：平山賢太郎（アンダーソン・毛利・友常法律事務所弁護士）他
2. 19 211 **第16回租税法ソフトロー研究会**
国際課税におけるデファクト・スタンダード
報告者：宮崎裕子（長島・大野・常松法律事務所弁護士・東京大学客員教授）
2. 19 212 **第17回市場取引ソフトロー研究会**
デファクト・スタンダードとしての会計基準の形成
報告者：小賀坂敦（監査法人トーマツ公認会計士）
2. 20 213 **第18回市場取引ソフトロー研究会**
テイクオーバー・パネルにおける自主規制の変容
報告者：渡辺宏之（早稲田大学助教授・COE特任助教授）
2. 21 214 **第15回知的財産法研究会**
Reverse Doctrine of Equivalents（逆均等論）と作用効果不奏功の抗弁
報告者：大野聖二（大野総合法律事務所弁護士）
2. 27 215 **第16回生命工学と法政策研究会**

- 虚偽データを基にした特許出願の抑止について
報告者：上條肇（東京大学助教授）
2. 28 216 第14回権利ビジネス研究会
多様化する情報流通とクリエイティブ・コモンズの試み
報告者：野口祐子（森・濱田松本法律事務所弁護士）
3. 1 217 第27回COE公開講座
我が国の知的財産戦略
報告者：小川洋（内閣官房知的財産戦略推進事務局長）
3. 5 218 第8回「国家と市場の相互関係におけるソフトロー」シンポジウム
『デファクト・スタンダード』と規範形成
ビジネスロー分野におけるデファクト・スタンダードの形成とハードローとの相互作用
報告者：三笥裕（東京大学助教授／長島・大野・常松法律事務所弁護士）
コメンテーター：藤田友敬（東京大学教授）
デファクト・スタンダードとしての会計基準の形成
報告者：小賀坂敦（監査法人トーマツ公認会計士）
コメンテーター：神田秀樹（東京大学教授）
国際課税におけるデファクト・スタンダード
報告者：宮崎裕子（長島・大野・常松法律事務所弁護士／東京大学客員教授）
コメンテーター：増井良啓（東京大学教授）
3. 15 219 第28回COE公開講座
新しい国際私法のもとでの企業法務
報告者：道垣内正人（早稲田大学大学院教授・弁護士・COE特任教授）
3. 15 220 第17回ソフトロー理論研究会
インターネットのガバナンス～非国家主体（ICANN）によるrulemakingを巡る政治力学～
報告者：早川吉尚（立教大学教授）
3. 16 221 第5回知的財産ソフトロー収集作業班報告会
後発医薬品をめぐるソフトロー
報告者：COEソフトロー収集作業班メンバー及び指導弁護士

(城山康文弁護士等)

3. 31 222 ソフトロー研究第 8 号刊行

平成 19 年度

4. 6 223 第 6 回国際関係とソフトロー研究会
国際支払とソフトロー
報告者：西谷祐子（東北大学准教授）
国際関係私法に関するソフト・ロー
報告者：道垣内正人（早稲田大学大学院教授・弁護士・COE
特任教授）
4. 9 224 第 22 回経済法研究会
元詰種子価格協定事件
報告者：白石忠志（東京大学教授）他
4. 9 225 第 19 回COEソフトローセミナー
ヨーロッパにおけるコーポレート・ガバナンスの近時の展開
報告者：Christian Foerster（Tuebingen University 助手）
4. 12 226 第 23 回経済法研究会
Illinois Too Works Inc. v. Independent Ink, Inc.
報告者：中野雄介（アンダーソン・毛利・友常法律事務所弁護士）他
4. 17 227 第 20 回COEソフトローセミナー
国連国際商取引委員会の担保法立法ガイドについて
報告者：ハリー・C・シグマン（アメリカ・カリフォルニア州
弁護士）
4. 28 228 第 7 回国際関係とソフトロー研究会
判例評釈：小樽温泉入浴拒否事件（札幌 2002 年 11 月 11 日）
報告者：寺谷広司（東京大学准教授）
いわゆる「非拘束的」合意について
報告者：豊田哲也（国際教養大学講師）
5. 11 229 第 16 回知的財産法研究会
公序良俗を害する商標
報告者：小泉直樹（慶應義塾大学大学院教授）
5. 15 230 第 21 回COEソフトローセミナー
An analysis of the judicial confirmation process in the

- United States (B L C セミナーと共催)
報告者: John Lott (ニューヨーク州立大学客員教授)
5. 16 231 第 17 回租税法ソフトロー研究会
国際課税の教育におけるモデル条約の役割
報告者: 増井良啓 (東京大学教授)
5. 22 232 第 18 回租税法ソフトロー研究会
申告納税制度と税務執行
報告者: 山崎博之 (東京国税局)
6. 7 233 第 24 回経済法研究会
Napp Pharmaceuticals による市場支配的地位の濫用事件
報告者: 柏木裕介 (公正取引委員会) 他
6. 8 234 第 6 回知的財産ソフトロー収集作業班報告会
後発医薬品をめぐるソフトロー (2)
報告者: C O E ソフトロー収集作業班及び指導弁護士 (城山康文弁護士等)
6. 25 235 第 25 回経済法研究会
大阪バス協会審決
報告者: 白石忠志 (東京大学教授) 他
6. 26 236 第 9 回ソフトローデータベース収集・構築作業班会合
データ収集作業の進捗状況報告と今後の方針の決定等
7. 3 237 第 19 回市場取引ソフトロー研究会
上場制度総合整備プログラム 2007
報告者: 飯田一弘 (東京証券取引所)
7. 9 238 第 19 回租税法ソフトロー研究会
事前照会に対する文書回答事例の研究 (6)
7. 13 239 第 9 回「国家と市場の相互関係におけるソフトロー」シンポジウム
“Soft Law in Action: The Role of Private Ordering in Commercial Activities”
Reputation and Intermediaries in Electronic Commerce
報告者: Clayton P. Gillette (Professor, New York University)
コメンテーター: 藤田友敬 (東京大学教授)
Soft Law and the Governance of Global Corporations

- 報告者：Robert B. Thompson (Professor, Vanderbilt University)
 コメンテーター：小塚荘一郎（上智大学法科大学院教授）
 Guaranty： where private ordering meets the legal system
- 報告者：森田果（東北大学准教授）
 コメンテーター：田中亘（成蹊大学准教授）
7. 18 240 **第 22 回 C O E ソフトローセミナー**
 Current Issues in Commercial Law
 報告者：Clayton P. Gillette (Professor, New York University)
7. 26 241 **第 29 回 C O E 公開講座**
 弁護士の収入についての分析
 報告者：Mark Ramseyer（ハーバード・ロー・スクール教授）
7. 26 242 **第 7 回知的財産ソフトロー収集作業班会合**
 今後の活動方針について
 報告者：C O E ソフトロー収集作業班及び指導弁護士（城山康文弁護士等）
7. 31 243 **ソフトロー研究第 9 号刊行**
8. 8 244 **第 20 回租税法ソフトロー研究会**
 OECD Model Tax Convention Article 24 (Non- Discrimination) に関する 5 月 3 日 discussion draft について
 報告者：増井良啓（東京大学教授）
8. 24 245 **第 21 回租税法ソフトロー研究会**
 租税条約と国内税法の交錯
 報告者：井上康一（弁護士）
9. 5 246 **第 22 回租税法ソフトロー研究会**
 岩澤雄司『条約の国内適用可能性』をめぐって
 報告者：川副令（C O E 特任研究員）
9. 5 247 **第 26 回経済法研究会**
 CREDIT SUISSE SECURITIES (USA) LLC v. BILLING
 報告者：中島菜子（長島・大野・常松法律事務所）
9. 20 248 **第 8 回国際関係とソフトロー研究会**
 C O E 最終成果物の各自の担当部分についての原稿に基づく報告と議論（最終とりまとめ）

- 報告者：道垣内正人（早稲田大学大学院教授・弁護士・COE
特任教授）
9. 25 249 **第30回COE公開講座**
いまなぜ「債権法改正」か？
報告者：内田貴（東京大学教授）
9. 28 250 **第18回ソフトロー理論研究会**
買収防衛策導入の業績情報効果：2005年導入企業に関する実
証分析
報告者：広瀬純夫（信州大学講師）・藤田友敬（東京大学教授）・
柳川範之（東京大学准教授）
10. 5 251 **第27回経済法研究会**
防衛庁発注タイヤ・チューブ事件
報告者：白石忠志（東京大学教授）他
10. 18 252 **第31回COE公開講座**
倒産処理手続と担保権—集合債権譲渡担保を中心として
報告者：伊藤眞（早稲田大学大学院教授・東京大学名誉教授）
11. 2 253 **第20回市場取引ソフトロー研究会**
Protection of Minority Shareholder Rights in Parent-Child
Listings: A Requirement for Building a Global Financial
Center in Japan
親子上場における公正確保と少数株主の保護—真の国際金融資
本市場に求められる条件
報告者：アルプ・アーシル（ペリー・キャピタル マネージメ
ントパートナー、アジア地域投資責任者）
コメンテーター：神山直樹（モルガン・スタンレー証券会社）
11. 25 254 **第23回租税法ソフトロー研究会**
租税条約論
報告者：谷口勢津夫（大阪大学教授）
11. 29 255 **第32回COE公開講座**
景品表示法に基づく家電業界の公正競争規約（表示と景品付き
販売に関する自主ルール）の運用の現状と課題——ソフトロー
の一つの運用事例として——
報告者：山木康孝（東京大学客員教授・（社）全国家庭電気製品
公正取引協議会専務理事）

11. 29 256 **第 28 回経済法研究会**
Peace Health 事件
報告者：宇都宮秀樹（森・濱田松本法律事務所弁護士）他
11. 30 257 **ソフトロー研究第 10 号刊行**
12. 11 258 **第 29 回経済法研究会**
内装工事用けい酸カルシウム板事件
報告者：白石忠志（東京大学教授）他
12. 13 259 **第 24 回租税法ソフトロー研究会**
新信託税制の批判的検討—受益者等課税信託における損失の取り扱いを中心に—
報告者：中村真由子（東京大学法科大学院）
1. 26 260 **第 25 回租税法ソフトロー研究会**
仮想通貨にかかる課税問題—「Second Life」の例—
報告者：吉村典久（慶應義塾大学教授）
1. 31 261 **第 33 回COE公開講座**
不動産流動化・証券化と法規制
報告者：田中俊平（東京大学客員教授，長島・大野・常松法律事務所弁護士）
2. 28 262 **第 34 回COE公開講座**
税制改正よもやま話
報告者：渡辺裕泰（早稲田大学大学院教授・元国税庁長官・COE特任教授）
3. 3 263 **第 10 回「国家と市場の相互関係におけるソフトロー」シンポジウム**
「私的秩序の生成メカニズム：主体・過程・内容」
社会法における私的規範形成
報告者：岩村正彦（東京大学教授）
コメンテーター：嵩さやか（東北大学准教授）
プロバイダ責任制限法ガイドラインによる規範形成
報告者：森田宏樹（東京大学教授）
コメンテーター：小塚莊一郎（上智大学法科大学院教授）
国際商取引における規範形成
報告者：藤田友敬（東京大学教授）
コメンテーター：曾野裕夫（法務省民事局参事官・北海道大学

- 客員教授)
3. 11 264 **第30回経済法研究会**
沖縄談合(賀数建設)審決
報告者:白石忠志(東京大学教授)他
3. 13 265 **第31回経済法研究会**
Stolt-Nielsen事件
報告者:雨宮慶(伊藤見富法律事務所)他
3. 27 266 **第35回COE公開講座**
著作権法と産業政策
報告者:相澤英孝(一橋大学大学院教授・COE特任教授)
3. 31 267 **ソフトロー研究第11号刊行**